

合唱団オラシヨクラブ  
世界遺産登録記念演奏会

わたしの心は喜び踊る。わたしは歌をもって、主をほめたたえる。  
詩編 28-7



ガウデンツィオ・フェラーリ 『合奏の天使』  
イタリア 奇跡の聖母マリア聖堂 16世紀

2018年11月18日(日)  
13時30分開場 / 14時開演  
平戸ザビエル記念教会

## はじめに

合唱団オラシヨクラブの皆様による「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産登録を記念し、平戸教会にて演奏会を行って頂くこととなりました。

平戸教会信徒のルーツは、今年7月に世界遺産に登録された教会堂が集中する五島列島出身信徒です。今から丁度、150年前の11月に起きたカトリック信徒への大規模迫害である「五島崩れ」を命がけで乗り越え、私達の先祖は平戸へ移住しこの教会堂を苦難の末に献堂しました。

この記念すべき年に、合唱団オラシヨクラブの皆様による演奏をこの聖堂で与ることができることに感謝し、私達の先祖から受け継いだ尊い信仰を改めてみつめなおしてみましよう。

平戸ザビエル教会聖歌隊 近藤 司

<出演者(以下敬称略)>

合唱団オラシヨクラブ 27名

### ○ソプラノ

石井幸子、井上麻衣子、上原いづみ、内田友美、大谷裕香、  
国富道子、佐々木まち子、谷野有紀、富川由美子、山田麻矢、  
山田ゆり、古瀬笑子

### ○アルト

佐々木美登、篠田理佳、末廣里夏、側島玲子、長松谷喜久子、  
深津智恵子、福田真弓、布施木佳代子

### ○テノール

今田毅、布施木誠、宮前博

### ○バス

加藤孝雄、古瀬勝美

### ○オルガン

野村牧子

### ○指揮・カウンターテナー

奥村泰憲



## <プログラム>

---

・モーツァルト  
「レクイエム」KV626 から  
入祭唱  
涙の日  
主なるイエスキリスト  
生贄と賛美を  
「晩課」KV339 から  
主を褒め称えよ  
アヴェ・ヴェルム・コルプス KV618

---



(休憩 10 分)

---

・バッハの作品から  
「平均律クラヴィーア曲集 第 1 巻」から 第 4 番 プレリュード  
BWV849  
「アンナ・マグダレーナ・バッハの音楽帳」から あなたが私の傍に  
おられるなら BWV508  
「シメツリ歌曲集」から 私は飼い葉桶のそばに立っている  
BWV469 愛しく優しきイエス様 BWV493

---

・長崎にまつわる作品  
オラシヨから らおだて  
ジョスカンデプレ作曲 千々の悲しみ(オルガン演奏)

---

・ミハエル・ハイドン「待降節と四旬節のミサ」MH553

\* 最後は、オラシヨクラブの皆様と「ごらんよ空の鳥」を歌います。

## <演奏者紹介>

---

### 合唱団オラショクラブ

「オラショ」とはラテン語で「祈り」の意味。

神への祈りを奉げるミサで奏でられる音楽のなかで、モーツァルトやハイドンが活躍した18世紀のウィーンのみサ曲を中心に楽しみながら学び合える混声合唱団を目指して2014年6月に立ち上げられました。

---

#### ○指揮 奥村泰憲

4歳よりヴァイオリンを始める。広島少年合唱隊出身。

エリザベト音楽大学宗教音楽学科卒業、同大学院修了。

2005年よりウィーン国立音楽大学(声楽)、プライナー音楽院(指揮・オペラ)で研鑽を積む。

2009年ウィーンでシュッツ「十字架上の七つの言葉」、バッハ「ルターミサ」を指揮しデビュー。オーストリアを中心に音楽祭の副指揮、合唱指導など多岐にわたり活動。

2012年帰国後は宗教曲の他、歌劇「天空の町」「フィガロの結婚」を指揮。

合唱団オラショクラブ代表、東京バロックスコラーズ、MBC室内合唱団、合唱団玄、アンデレ教会聖歌隊指導者。

---

#### ○オルガン 野村牧子

桐朋学園女子高校音楽科・桐朋学園音楽大学ピアノ科卒業。

ピアノを寺西昭子氏・高柳朗子氏・高木茉莉氏に、室内楽を岩崎淑氏に師事。

さいたま芸術劇場オルガン講座終了。

歌曲アンサンブル研究会会員。合唱団オラショクラブ、MBC室内合唱団、女声合唱団ラピスラズリ、女声合唱団ミルフィーユ伴奏者。